

ひなの家押野通信第26号

「大大吉」のおみくじに利用者が笑顔 押野の「巫女」が利用者の健康を祈る

2022年の正月早々、スタッフが巫女に扮して、利用者の健康を祈ってお祓いしました。また、おみくじもひいて今年の運勢を占いました。

スタッフはアヒル神社の巫女という想定で、白衣と赤いはかま姿で登場。利用者「あけましておめでとございませう」とあいさつをしました。一人一人に「健康でいい年になりますように」とお祓いをしました。利用者は神妙に聞いていました。

このあと利用者はおみくじをひいて今年の運勢を占いました。「大大吉」「大吉」「中吉」「末吉」などがありました。また、元旦のお昼におせち料理が振るまわれ、利用者は正月気分を満喫しました。



「健康と幸せを祈って、白衣と赤いはかまの「巫女」にお祓いを受ける利用者」

「おせち料理」



「おみくじ」



ひなの家 押野

野々市市押野1-31
電話076(287)5810

グループ新年会で最優秀賞



「楽器を奏でる利用者とスタッフ」

てまのグループの新年会に披露する演奏やダンスの撮影がありました。利用者やスタッフは協力し合って「ドラえもん」の楽曲を演奏したり、「石川サンバ」を踊ったりしました。これは動画で提出され、審査されました。グループの数ある動画の中、「押野」の動画は最優秀(副賞)100本を受賞しました。

利用者、スタッフが協力し楽曲やダンス

四季を撮る



燃える炎に、新年の願い託す



1月中旬、野々市市の押野中央公園運動広場で左義長が繰り広げられました。訪れた利用者は、持ち寄ったしめ飾りなどを火にくべて、燃え上がる炎に新年の願いを託しました。

ふくよかな大豆の香り漂う 大寒に合わせて味噌づくり

大寒の1月下旬、ホームで味噌づくりがありました。利用者は煮込んで柔らかくなった大豆を機械でつぶす作業に懸命でした。

大寒の時期は、寒さで雑菌が繁殖しにくく、味噌づくりに適しています。特に味噌がゆつくり発酵するため、味に深みがあるとみわれています。

この日は大豆3kg、こうじ4kg、塩4kg、みそをつぶす機械を用意。朝から大豆をコトコトと煮込み、圧力釜を使って柔らかくしました。このあ



「大寒みそを作る利用者」



「味噌玉をバケツに投げ込む」

と機械をテーブルに設置し、大豆を投入。ハンドルを回すと、ペースト状になったふくよかな大豆が出てきました。利用者は力いっぱいハンドルを回しました。

超難問のジグソーパズル 駒井さん、半年かけて完成



利用者の駒井禮子さんが、2000ピースもあり、「超達人」級といわれるジグソーパズルを完成させました＝写真。パズルの大きさは縦50cm、横75cm。世界遺産にも登録されているカナダ・ケベック州のノートルダム大聖堂の内部風景です。色とりどりの祭壇やステンドグラス、パイプオルガンが装飾され、荘厳な雰囲気漂っています。

駒井さんは2年前から500～1000ピースを完成させていました。「スタッフの皆さんに助けられ、やっと出来上がりました」と喜んでいました。

その人が望む生活を支援する「押野」の強みと魅力

今村さん、小松さんがグループの学術大会で発表

てまりグループの学術 大会でスタッフの今村智



「成果を発表する今村さん⑩と小松さん」

子さんと小松千加子さんが「絶対に自宅の生活を貫きたい」と題して1年間の成果をZOOM形式で発表しました。

一人暮らしが難しいと思われても、「自宅での生活を貫きたい」とする利用者本人の思いを尊重し、訪問サービスの支援によって在宅生活の継続を実現させた事例を報告しました。その人が望む人生を送るために寄り添

い、考え、支援するひなの家押野の魅力と強みを訴えました。

◎編集後記

新年早々、利用者にも正月気分を味わってもらおうと、スタッフが奮闘しました。巫女に扮したり、近くの神社へ初詣に案内したり。琴の演奏会もしました。これからと意気込んだ矢先、「オミクロン」が大流行。でも、ひるんではかりいられます。 「利用者のために」。 熱い気持ちは変わらさず、スタッフ一丸で頑張ります。

(浦上)